

◆ Yokoso Obara Linkai

Take Free [0円]

# おばらのじかん

— 第22号 —

2021 Spring



楽しく、豊かに過ごす

## おばらのおうち時間

コロナ禍での過ごし方をご提案

【イラッシャイ小原へようこそコーヒー焙煎の大原さん】

【本城小 城山学習発表会】

【小原地区のYOUTUBEチャンネル続々登場!】

【マンガイカくんキンちゃんの小原日記】

【小原いろいろ情報】



小原人集まれ! 「おばちゅう卒」  
www.facebook.com/obachuu

おばちゅう  
以外でもOK

巻頭集

おばらのおうち時間

コロナ禍でも、ちょっと嬉しくなったり、心豊かに過ごせるワークショップををご紹介します。



お家で過ごす時間が増えて、その時間をより豊かにしたい。そんな気持ちにも応えてくれるハーバリウム。ハーバリウムを中心にいろいろなワークショップや物販をしている、Be!spaceの鈴木麻希さんをご紹介します。

ハーバリウムとは日本語で植物標本という意味です。瓶の中にドライフラワーやプリザーブドフラワーを入れて専用のオイルに浸したものです。お花を長期間保つことができ、しかもお手入れは一切不要です。オイルによってもたらされる独特の透明感や浮遊感もハーバリウムの魅力の一つです。麻希さんは一度ハーバリウム作りを体験した時、その幻想的で素敵な空間にすっかり虜になってしまったそうです。

今回作らせてもらったのは、「ハーバリウムディスプレイペンサー」。ハンドソープの容器を植物で飾ります。4面ある容器の正面を決め、使う花材を選んでいきます。たくさんの色、様々な種類の花や葉、実など、選ぶのもワクワク。作品を見ると奥行きがあるように見えませんが、実際は厚みがなく、入れられる植物の大きさは限られています。角の部分は少し大きめの物が入りそう。色合いや花材、葉などのバランスを見ながら調整します。最後にオイルを入れると植物が浮いてきてしまうので、長さのある葉などで押さえて入れたり、小さなかけらをピンセットで取り除いたり、思いの外技術が必要ですよ。

麻希さんの的確なアドバイスを聞きながら、4面完成！いよいよ仕上げにオイルを入れて、オイルが固まったらでき

まだまだある 魅力的なハーバリウム作品



初めのハーバリウム作りでしたが、わかりやすい説明と明るい人柄に加えて、難しい箇所は丁寧に教えていただき、とても楽しく作ることができました。ひとつ作ると、「次はこんな色で作ってみたい」「季節に合わせた物も欲しい」などと、どんどん作りたくなってしまう！

今回のハーバリウムディスプレイペンサーは、手をかざすと自動で消毒液が出てくる容器です。毎日の手洗い、消毒も、こんな素敵な容器でしたら楽しみになりますよ。自動で出てくるのも嬉しい。今回作ったディスプレイペンサーもサイズ違いがあり、キッチンで食器洗いの



ふと目に留まるところにハーバリウムがある。綺麗な花や植物に癒される暮らし。Be!spaceとは「素敵な空間」という意味だそう。あなたのお家も、お花で素敵な空間にしてみたいかがでしょうか。

belespace.maki@gmail.com  
belespace\_maki



マスク着用の毎日楽しくする、アロマスプレー作り。新しい生活様式が始まって二年。少しでも快適に過ごせるように、アロマセラピストの濱田あいさんのご自宅に伺いました。

でもOK！それを小さなピーカーの中に、ポトポトと香りの調整をしながら数滴落としてブレンドしていきます。あとは精製水とエタノールを混ぜて、慎重にスプレーボトルの中に入れてたら完成です。

出来上がったアロマスプレーをマスクに吹きかけてみると心地よい豊かな香り。このアロマスプレーはマスクスプレーだけではなく手指の消毒液としても使えるそうです。何かとストレスの多いマスク生活も楽しくなりそうです。

知っているようで知らないアロマのこと

最近、私たちもよく目にしたりに耳にしたりする、エッセンシャルオイルについてお聞きしました。エッセンシャルオイルというのは、植物から採られる香りの成分（芳香分子）の集合体。天然の植物性だからといって安心安全ではなく禁忌事項や注意事項を守って使用することが大切です。だからこそ濱田さんのような専門の知識を持つ方のアドバイスがとても大切です。

コロナが始まってから、以前にも増して心も身体も気を緩められない日々が続き、私たちの心や身体は常に戦う



フェイシャル・ボディエステ

脳デトックスも始められたそうです。また、施術だけでなく、症状や目的に応じたアロマを使ったマッサージュオイルやクリーム、そして今回作り方を教わりながら作るマスクスプレーや虫除けスプレーなどを提供しています。

それでは、早速マスクスプレー作りです。まずは、濱田さんが選んでくれた抗ウイルス作用のあるエッセンシャルオイル（精油の中から自分の好きな香りを選びます。（複数



部屋では抗ウイルス作用のあるアロマが常に焚かれています

「アロマは、ひとりひとりの症状に的確に役立ててこそ確かな効果が得られるもの。コロナというこんな時期にアロマを使って心と身体をメンテナンスしてほしい」と、濱田さんは言います。癒しや素敵な香り：アロマと聞くとそんなふうに思っていたけれど、アロマは私たちの心や身体にやさしく働きかけてくれるものだと知りました。まだ統いていきそうなコロナ禍での生活ですが強い味方を見つけたような気がします。

電話090-9901-1158  
ai-02290622  
@uka\_aroma



精製水とエタノールを混ぜる

たくさんの種類のオイルから好みを探してくれる

わかりやすく説明してくれる濱田さん

出来上がった自分好みのアロママスクスプレー

仕上げのオイルを入れる様子

マスクスプレーをマスクにつける様子

今回出来上がった作品



できあがった作品、個性が出ている

今回取材をさせていただいたのは、小原交流館の自主グループ活動で「楽文字シュークリームたち」の講師をしている無州さん。「筆文字」について語っていただきました。

まずは無州さんについて

約12年前に小原に移り住んできました。以前は浜松に住んでいたそうので、お店をやっていた時にお客様DMを書いたり、お店のPOPを手書きで書いていたそうです。実家が日進市で、こちらに帰って来ることになり、「田舎に住みたいなあ」ということで藤岡あたりから探しはじめて小原に住むことになりました。

小原にあるファミリーマートで働きたし無州さん。もともと浜松でもPOPを書いていたこともあり、ファミリーマートでもPOPを書いていました。それを見た小原交流館の職員に声を掛けられワークショップをするに。そして今、「筆文字」を教えるまでになりました。早速「筆文字」を体験している様子を見学し

そもそも「筆文字」とは？

自分の字を生かして、それをベースに筆やペンでもよいので書いていきます。まずは、横線を何度も、次に縦線を何度も書き、次に丸を何度も書きま



筆の強弱の練習

す。これは筆に慣れ作業でもなかな線の強弱が思うよ

うにつけられない。コツは手首を上手に使うことと、筆を上下に動かすことです。何度も同じ字をいろいろな風に書いていきます。

今回は季節から「春」という字で練習しました。同じ「春」でも固くみえる「春」、やわらかく細い「春」といろいろな「春」が白い紙いっぱい何個も書き上がりまして。「へ〜こんなにかわるんだ?」と、書いてみてびっくり。無州先生もちょっとお手伝い!「こんな風にも書けるよ」と見本を書いてくれます。それがまた素敵で「春」でした。それを見ながら自分の「春」を書きあげていました。こうやって、好きな文字を書いてると、集中しすぎてあつという間に時間が過ぎていきました。

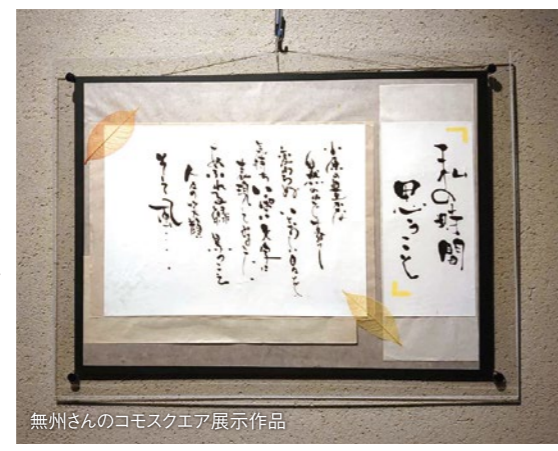
また、文字が変わると「桜」と「雨香」では雰囲気全く違いました。書く人の性格もできて、とても楽しく会話をしながら、お互いのを覗き込んだりしてワイワイ仕上げていきました。

最後に好きな色紙を選び、額に飾ってできあがり!こういったものの既製品を買うのもいいですが、自分で書いたのをオシヤレに部屋や玄関飾ったところを想像すると、素敵だなあと幸せな気持ちになりました。

筆文字体験をしてみませんか?

冒頭で紹介した無州さんが講師をしている「楽文字シュークリームたち」は、小原交流館にて第2と第4土曜日の午前中に行っています。見学だけでもできますので、ぜひお越しください!

書いたものは、文化まつりで毎年展示されます。昨年は、豊田市駅近くにあるコモスクエアにて展示もしました。無州さんが展示した時もお洒落な布や色画用紙などを用いて、素敵に展示をされていました。



無州さんのコモスクエア展示作品

コロナ禍でおうち時間が多くなりましたが、充実した、楽しい、幸せな時間にしていきたいですね。この「筆文字」は自分一人でも十分楽しめますが、家族や友達とも楽しめるものなんだなあと取材をしていて思いました。大人だけでなく、子どもも楽しんでみて面白そうです!!自分の字に親しみを持って、プレゼントされるのも嬉しいなあと思いました。

M.K

コーヒの焙煎をしている人がいる?大原さんという方が、豊田市の空き家バンク制度を使い、小原地区の大平町に移住されたとの話を聞き、取材にお邪魔させていただきました。大原さんはスラッと背の高い方で、ニコニコしながらいろいろな話をしてくれました。

Welcome Obara イラシヤイ 小原へようこそ



焙煎機の前の大原さん



ゲイシャ種のコーヒー生豆

大原さんは、82歳のお母さんと2人暮らし。現在、名古屋を中心に喫茶店や企業を相手にコーヒーの卸売業をしています。コーヒー11筋で18歳から38年間の大ベテラン。海外から仕入れたコーヒーの生豆販売・焙煎のほか、お客さんの好みに合わせたブレンドも提案してくれるそうです。

小原に来た理由を尋ねると、最近では喫茶店などへの卸の売上が下がってきたので、新たにヤフオクなビインターネット通販を使った生豆販売に事業転換をしたそうです。生豆の販売の方も徐々にですが売上が上がってきたことから、家賃の高い街なかでなく、全国の田舎の物件を探しました。「もともと自然や田舎が好きだった」とも。「本当は家を買いたかったのですが物件がなくて、とりあえず田舎へ来ちゃえ」と、豊田市の空き家バンク制度で大平町に来たそうです。

勢いで田舎にきたものの誤算もあったそうで、「一番大きかったのは運送会社の集荷サービスが街なかよりも値段が高いこと。また、商品管理のための湿度対策も大変だそうです。



コーヒー生豆袋

それでも競合の少ない生豆の卸売、それも高級な品種(ゲイシャ種など)に力を入れることで、固定客もだんだん増えてきているそうです。

徐々には増えているものの、やはりメインは今でも喫茶店や会社を相手にコーヒーの卸売。毎週水曜日だけに焙煎して、翌日新鮮なコーヒー豆を発送するそうです。

コーヒーのプロの大原さんに言わせると「コーヒーは生き物。焙煎して3日から4日で香りも少しずつ悪くなるそうなので、なるべく新鮮な状態で皆さんには飲んでもほしいので、焙煎と発送する日を決めているそうです。また、コーヒー豆は必ず冷凍庫で保管するのが劣化させないコツとのこと。豆のままなら冷凍庫で1年は持つそうですが、粉に挽いてしまうと劣化が10倍くらい早いと話してくれました。また、挽いた豆を冷蔵庫に入れると、豆がおいを吸ってしまうので良くないそうです。

今後はスペシャリティ20種、通常の豆を10種に絞って取り扱っていく予定。小原での販売の仕方はまだ模索中。興味がある人は問い合わせしてみてくださいね。社名は「センシア」、英語で「誠実」という意味で、大原さんの真面目な人柄がこどもも垣間みれました。僕もコーヒーミルを注文したので、大原さんの焙煎したコーヒーを飲みたいと思います。



大原さんの焙煎したブレンドコーヒー豆と買ったミル

wolcoffeepj@yahoo.co.jp

T.S

# 本城小「城山学習発表会」2月12日

本城小学校で、授業参観を兼ねて、城山学習発表会が行われました。城山学習発表会とは、自分の住む小原の歴史や特色を学び発表するというもので、毎年続けられています。

今年度は、新型コロナウイルスの配慮で学芸会が中止となったこともあり、楽器演奏あり、演劇ありの楽しくバラエティーに富んだ発表会となりました。

中でも目を引いたのが、6年生の発表した「小原の未来、自分の将来」。タブレットPCで



ポイントを使い説明していました。とても今風のデジタルな発表で関心しました。最高学年6年生らしく大人も納得するほどの内容で、現在の小原の現状や特徴を調べ、その良さを生かし持続させる方法について考え、発表していました。その後は、「小原すごろく」という、今度はアナログな手法で、保護者も一緒に参加して楽しめる内容でした。小原の未来について、学び考える機会を与えてくれたことへの感謝と重要性を感じました。

T.S



YouTube  
小原地区の  
YOUTUBE  
チャンネル  
続々登場！

昨年後半から今年にかけて小原地区で2つの公式ユーチューブチャンネルが立ち上がりました。1つは、小原観光協会の公式「おばらシキザクラ観光チャンネル」です。今年10月に放送予定のアニメ「シキザクラ」の声優、茉白実歩さんを観光大使に迎え、小原の名所や地元の人たちとの交流や活動の紹介をしています。

山原歌舞伎の精髄！

所作 役者 自前のお太夫 舞台大道具

もう1つは、小原歌舞伎保存会のチャンネルです。知っているようで知らなかった、小原歌舞伎のことや楽しみ方をゆるキャラ「おばらつきー」が紹介します。是非、登録して視聴してみてください。最近の小原のことがわかると思いますよ。

小原歌舞伎保存会チャンネル

おばらシキザクラ観光チャンネル



おばら地区の物件を探すなら！

豊田市 空き家バンク 検索

www.city.toyota.aichi.jp/akiya/

小原の情報ページ

『おばちゆう卒』是非登録してね！

www.facebook.com/obachuu

通常5月の五月公演ですが、今年は8月に行われる予定。小原交流館「ザ・小原座」※イベントは新型コロナウイルスの影響により、中止や変更の可能性があります。



小原歌舞伎 五月公演

過去の公演

小原いろいろ情報

## 小原白宇感 編集後記

はじめづくしの取材でした。いろいろな人ともお会いしました。とても楽しかったです。知らないことをほんの少し知ることのできな一歩を踏み出した気がします。

M.M (今号編集長)

「おうち時間」何をしたらいいかな？自宅での過ごし方をこの機会にあらためて考えることができた取材でした。小原は多才な人が多いなあ★私も、この記事を参考に快適な空間づくりをしていきたいと思っています(笑)

M.K

なるべくおうちで過ごす。マスクを着ける。時にウンザリしてしまふ今日この頃。そんな日々を少しでも明るく前向きに暮らせたら。工夫次第で、生活に彩りを添えるあれこれが見つかりそうですね。

A.H

コロナ禍で生活は一変してしまいましたが、ふと春めいてきた小原の自然を眺めると、何も変わってないいつもの春。自然の懐の深さを感じます。人も自然の一部、勘違いせず寄り添っていききたいものです。

T.S